



特定非営利活動法人

きんたろう倶楽部

平成 27 年 度 通 常 総 会

と き 平成 27 年 6 月 11 日 (木) 午後 1 時 30 分

と ころ 富山市ファミリーパーク 自然体験センター

NPO法人きんたろう倶楽部平成27年度通常総会 資料一覧

第1号議案 平成26年度事業報告について

資料1-1：平成26年度事業報告概要

資料1-2：平成26年度事業報告

第2号議案 平成26年度収支決算について

資料2-1：平成26年度末の財産目録と貸借対照表

資料2-2：平成26年度一般会計決算報告概要

資料2-3：平成26年度特定非営利活動に係る事業会計収支決算書

資料2-4：平成26年度積立金会計収支決算書

資料2-5：監査の実施結果について

第3号議案 きんたろうマネー（仮称）の導入と運用について

資料3-1：きんたろうマネー（仮称）の導入と運用について

資料3-参考：正会員と倶楽部会員の統合と

それに伴う会費額改訂の提案

第4号議案 平成27年度事業計画について

資料4-1：きんたろう倶楽部中長期構想

資料4-2：平成27年度事業計画概要

資料4-3：平成27年度事業計画

第5号議案 平成27年度収支予算について

資料5-1：平成27年度収支予算概要

資料5-2：平成27年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算書

第6号議案 役員選任（増員）について

資料6：追加役員名簿

第7号議案 定款の一部変更について

資料7：定款の一部変更について

平成26年度事業報告概要

【概要】

倶楽部の中核活動であるきんたろうの森の整備を継続しつつ、2つの助成金に採択されたわくわく富山探検隊と呉羽丘陵探検隊を実施した。また、新たに「くれは森ビト養成連続講座」を実施した。

9月に懇話会が持たれ、会員の一本化やリーダー会の再開等の意見が交わされた。

【森づくり】

きんたろうの森での月2回の定期活動を中心に活動した。

「市民参加の森づくり」では、熊出没で中止した天湖森を除いて、日立国際電気（春・秋）、山田Koroりん、婦中ふるさと自然公園（各願寺）、富山国際大学、小羽の森での整備を実施した。

その他、稲代国有防風林（春・夏）、めひの野園裏竹林、総合支援学校裏竹林も、それぞれの団体と協働で整備した。

きんたろうの森の会員参加者が平均で3人ほど減少している（15人→12人）のをはじめ、全般的に、会員の参加者数が若干減少ぎみのように見受けられるが、北陸電力から活発な参加が続いている。（森づくり全体で12回62人）

9月に開いた懇話会で、森づくりリーダー会の再開とそこでやりたいことを取りまとめることで意見の一致を見た。事務局が中心になって再開の準備をする。

【地域の交流】

引き続き、地域の諸団体と交流を広げ、多くの協働事業を実施している。

数年来、市民いきものメイト、バンブーセイブジアースと協働で、山王まつりでクラフトづくりをしてきており、これらの経験を活かして一昨年初めて当倶楽部単独で実施した竹クラフト作りを、昨年も9月にとやまちなかコレクション（青年会議所からの依頼）およびファミリーパークの輝けいのちの集いで実施した。実現しなかったが、他にも問い合わせがあり、今後スタッフを充実させて対応して行く。これらに向けて、会員向けの講習会も実施した。若干の道具購入もした。

一昨年に新たに開始した、園芸療法ネットワーク富山との園芸療法花壇作りを、昨年度は既に4回実施し、協力を強めている。

【里山の利活用】

メインの活動となった里山キャンプとさとやまの木道については、別項目とした。

薬草事業、ハーブ事業、アロマづくり、樹木同定講座を、「くれは森ビト養成連続講座」

の中に位置づけるなどして実施した。参加人数は、それぞれ33名（内会員外3）、39名（4）、55名（34）、15名（5）であった。アロマづくりの参加者が多く、会員外の参加者の割合も高いのは注目される。

ノルディックウォーク（かんじきウォーク）の参加者も半数以上が会員外であった。なお里山自然セラピーは参加希望者が少なく、中止とした。

【里山キャンプ（わくわく富山探検隊・呉羽丘陵探検隊）】

呉羽丘陵で4回、小矢部、山田、芦峯寺、五箇山で各1回、およびまとめのESDフォーラムを実施した。ただし参加者数は全般に低調で、山田はスタッフのみでの予行となった。初年度のため内容の具体化、広報が遅れたことによると思われる。

実施主体である県内大学生のサークル「レスコ（ToyamaResCo）」の活動に参加して、人材育成とキャンプの準備・指導に当たった。ただし、事務局とNEAL修了者の活動になっており、もっと会員を巻き込んだ活動として行く。

【さとやまの木道整備】

4月の開園記念日および悠久の森で打ち付けのイベントを実施したが、どちらも10人程度の応募者であった。パークの来園者に現場で呼び掛ける方法では、この程度になることが見えてきた。

夏休み中に、「夏休みウォーターキッズ」（北陸コカコーラ・BBT）および「富山里山木工教室」（BBT）で、11月には「わくわく☆森づくりたんけん隊」（悠久の森）で、イベントの中にメッセージボード描きを入れてもらい、合計48枚を延伸した。

今後、企業・団体などのイベントへの組み込みを増加させなければならない。

【人材育成】

「くれは森ビト養成連続講座」を新たに開始し終了した。全6講座を通じての参加者はなく、3講座参加者は3名、2講座参加者は4名であった。連続した参加者は、これまでの中核的な会員を超えず、呉羽丘陵自然解説員の養成には心もとない状況ではあるが、継続して実施して行くことが重要と考える。

NEAL講座をきんたろう倶楽部が主催して開催した。会員1名、会員外9名の参加があった。うちToyamaResCoのメンバーが5名である。今後も接触を保ち自然体験活動指導者の県内人脈の構築を進める。

県立大学の学生を中心にした里山やESDに興味を持つ県内大学生のサークル「レスコ」の活動に加わった。これらの学生に里山キャンプの準備と実践を通して、里山への興味を喚起していく。

【会員数】

現在の会員数は、正会員66人（64）、倶楽部会員66人（75）、賛助会員20名（20）である。（ ）内は、昨期当初の数。

【その他トピックス】

- ・一昨年の里山キャンプを基礎にしたESDプログラムが環境省のモデルプログラムに採択された。また、昨秋開催のESDユネスコ世界会議国際（名古屋）の併設展示にレスコの取り組みが選定された。
- ・プルデンシャル生命およびログハウスのBESSの寄付団体に選定され、それぞれ13.6万円、10万円の寄付があった。プルデンシャル生命は県内1団体、BESSは全国で10団体目とのこと。
- ・「みどりの風」（セブンイレブン財団広報誌）、「福祉とやま」に、きんたろう倶楽部の紹介記事が掲載された。
- ・北陸3県の森づくり特集番組で、KNBの取材を受け放映された。（HPを見ての問い合わせ）
- ・県民ボランティア総合支援センター主催の「NPO法人設立基礎講座」（サンシップ）で講演した。
- ・呉羽梨農家の剪定材などの低質のバイオマスを竹チップなどと燃焼させて、粉炭などを生産する「山仙式平炉」を建設・運営する計画を、ファミリーパークと立案し、富山市が選定されたロックフェラー財団のレジリエンス都市のプロジェクトに応募している。

平成26年度事業報告

森づくり事業

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	㊦	外	人数
4/16(水)	きんたろうの森開所式	安全祈願・下草刈り・竹林整備	26	5	31
4/19(土)	呉羽丘陵竹林整備ボランティアの集い	主催:富山市公園緑地課	12		12
4/20(日)	森づくりボランティアの集い	閑乗寺公園 南砺市	7		7
5/12～ 6月末	幼竹除伐	ファミリーパーク内全域の竹林整備	46		46
5/7(水)	きんたろうの森整備		18	1	19
5/21(水)	きんたろうの森整備		8	3	11
5/28(水)	森の祭典	小矢部運動公園	11		11
6/4(水)	きんたろうの森整備		7	1	8
6/18(水)	きんたろうの森整備		15	1	16
6/21(土)	日立国際電気の森整備	日立国際電気の森の下草刈り 日立国際電気との協働事業	8		8
6/25(水)	山田 Koro りんの森整備	山田koroりんの森下草刈り	8		8
7/2(水)	きんたろうの森整備		11	1	12
7/5(土)	婦中ふるさと自然公園整備	婦中・各願寺裏手の竹林整備 地元住民協働	14	2	16
7/13(日)	飛越源流の森づくり	岐阜県高山市清見町夏厩地内	6		6
7/16(水)	きんたろうの森整備		13	1	14
8/23(土)	かぐや姫の里の集い		2		2
9/6(土)	富山国際大学里山林整備	中低木・草本伐採。 国際大学と協働	9	52	61
9/10(水)	きんたろう懇話会		19		19
9/20(土)	日立国際電気の森整備	日立国際電気の森階段づくり、 雑木回収	8	35	43
9/24(水)	きんたろうの森整備		11	2	13
10/8(水)	きんたろうの森整備		11	1	12
10/10(金)	桐谷地区整備	下草狩り アイ・フィール・ファイ ンと協働	5	4	9
10/22(水)	きんたろうの森整備		9		9
10/31(金)	割山森林公園天湖森整備	中止			0
11/5(水)	きんたろうの森整備		9	1	10
11/15(土)	きんたろうの森整備森仕舞		7	5	12
11/20(木)	竹林整備	古沢小4年生と竹林整備(ESD)	4	13	17
11/22(土)	小羽の森整備	スギ林の除伐	6	5	11
3/11(水)	森づくりリーダー会	呉羽丘陵竹林ボランティア説明会	11	2	13
		合 計	321	135	456

地域交流事業

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	⊕	外	人数
4/9(水)	園芸療法講座 キックオフ		8	7	15
4/26(土)	稲代地区国有防風林整備	名古屋シティフォレスター、富山森林管理署との協働	15	3	18
5/18(日)	呉羽丘陵竹林整備西金屋地区	めひの野園家族会、北陸電力と協働。めひの野園裏の竹林整備	13	18	31
6/1(金)	山王まつりクラフト	いきものメイト、バンブーと協働	1		1
6/14(土)	富山総合支援学校竹林整備		10	50	60
6/18(水)	竹ランタンづくり		4		4
7/16(水)	県マッチング事業参加		1		1
7/18(金)	稲代地区国有防風林草刈	富山森林管理署と協働	3	5	8
7/21(月)	園芸療法講座 竹柵づくり		7	3	10
9/1(月)	クラフト材料準備		3		3
9/13(土)	富山まちなかコレクション クラフト	富山市青年会議所	6		6
9/17(水)	海辺の漂着物調査	岩瀬海岸で岩瀬小学校等と共に環日本海環境協力センターの事業に参加協力	11		11
9/23(祝)	輝けいのちの集いクラフト	いきものメイト、バンブーと協働で竹のクラフト教室を実施	6		6
9/28(日)	園芸療法講座		3	6	9
10/27(月)	子守ネット植樹活動	やまむろ保育園と協働で植樹地の草取り	4	21	25
11/16(日)	園芸療法講座 花壇づくり		1	6	7
3/13(金)	サポセン懇話会		1		1
		合 計	97	119	216

里山の利活用事業

(1) 薬草事業

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	⊕	外	人数
7/20(日)	さとやま「魅力再発見！」	防虫スプレーを作ってみよう！			21
9/21(日)	さとやま「魅力再発見！」	晩夏の里山の薬草を知ろう！			23
10/18(土)	さとやま「魅力再発見！」	きこりに学ぼう間伐はなぜ必要？			31
10/25(土)	さとやま「魅力再発見！」	ハーブキッチン			25
		合 計			100

(2) ハーブ事業

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	⊕	外	人数
4/16(水)	ハーブ畑たがやし		6		6
4/27(日)	「摘み草」 森ビト養成講座 #1	野の草の調理	9	3	12
5/11(日)	ハーブを知ろう！ 森ビト養成講座 #2	ハーブの植え付け・管理法・活用できるハーブで庭造り	8	4	12
7/2(水)	ハーブ植え付け		3		3
	ハーブ畑維持管理	草取り、刈込、冬支度 全5日	18		18
		合 計	44	7	51

(3) アロマづくり

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	⊕	外	人数
6/9(月)	森の香りでキレイになる下見	富山市小羽	3		3
6/28(土)	森の香りでキレイになる 森ビト養成講座 #4	富山市小羽	8	16	24
11/4(火)	森の香りでキレイになる下見	富山市八尾桐谷地内	3		3
11/8(土)	森の香りでキレイになる	富山市八尾桐谷地内	7	18	25
		合 計	21	34	55

(4) 里山自然セラピー

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	⊕	外	人数
6/1(日)	樹林自律神経鍛錬、薬膳粥、炭酸泉浴サトヤマセラピー	中止			0
11/1(土)	秋の里山ノルディックウォーク&リラクゼーション	中止			0
		合 計			0

(5) ノルディックウォーク

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	⊕	外	人数
11/1(土)	秋の里山ノルディックウォーク&リラクゼーション	中止			0
2/21(土)	かんじきウォーク	富山市八尾桐谷	5	7	12
		合 計	5	7	12

(6) 里山キャンプ

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	㊦	外	人数
6/18(水)	くれたん春 下見		3	5	8
6/20(金)	くれたん春 打ち合せ		3	5	8
6/22(日)	呉羽丘陵たんけん隊 春	ファミリーパーク・県立大学と連携し呉羽丘陵探検キャンプ	3	22	25
7/15(火)	くれたん夏 打ち合せ		4	3	7
8/8(金)	くれたん夏 打ち合せ		3	3	6
8/20(水)	くれたん夏 下見		3	5	8
8/25(月) ～27(水)	呉羽丘陵たんけん隊 夏	ファミリーパーク・県立大学と連携し呉羽丘陵探検キャンプ	4	25	29
10/13(月)	わくわく富山たんけん隊in小矢部	畑の恵みをいただきます！	3	18	21
10/19(日)	わくわく富山たんけん隊in山田	紅葉ハイキング！	3	11	14
10/25(土) ～26(日)	わくわく富山たんけん隊in立山	秋の夜長にキャンプだホイ♪	4	25	29
10/28(火)	くれたん秋 打ち合せ・下見		3	2	5
11/15(土)	呉羽丘陵たんけん隊 秋	ファミリーパーク・県立大学と連携し呉羽丘陵探検キャンプ	4	17	21
11/16(日)	わくわく富山たんけん隊in五箇山	茅の株植をしよう！	3	22	25
2/14(土)	呉羽丘陵たんけん隊 冬	ファミリーパーク・県立大学と連携し呉羽丘陵探検キャンプ	4	19	23
		合 計	47	182	229

(7) 呉羽丘陵マップ作り

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	㊦	外	人数
12/13(土) ～14(日)	中田ゼミ&きんたろう合同合宿	マップ作りのためのプログラム	3	5	8
3/4(水)	呉羽丘陵	呉羽丘陵の危険箇所確認	6		6
3/20(金)	呉羽丘陵散策	マップアプリを使っでの散策	6	7	13
		合 計	15	12	27

(8) わくわく田んぼ

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	㊦	外	人数
4月～9月	わくわく田んぼ維持管理	ファミリーパークわくわく田んぼのアゼヌリ、草取り、のり面除草他(全6日)	29		29
		合 計	29		29

(9) IBW

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	Ⓟ	外	人数
4/23(水)	IBW事業 #1	IBW基礎施工	14		14
4/28(日)	IBWイベント		11		11
8/2(土)	IBWイベント	コカ・コーラ&BBT	4	2	6
8/9(土)	IBWイベント	BBT	5		5
8/31(日)	IBWイベント	悠久の森	12	1	13
10/29(水)	IBW事業 #2	IBW基礎施工	6		6
11/2(日) ~3(祝)	IBWイベント		7	3	10
11/24(日)	メッセージボード打ち付け		2	1	3
3/23(月)	さとやまの木道掃除		2		2
		合 計	61	7	68

人材育成事業

(1) 森ビト養成講座

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	⊕	外	人数
4/27(日)	森ビト養成講座 #1	「摘み草」	9	3	12
5/11(日)	森ビト養成講座 #2	ハーブを知ろう!	8	4	12
5/25(日)	森づくり塾 竹編サポートセンター主催				15
6/7(土) ~8(日)	森ビト養成講座 #3	NEAL自然体験活動指導者養成講座	7	10	17
6/28(土)	森ビト養成講座 #4	森の香りでキレイになる	8	12	24
7/16(水)	新規会員森づくり講習会	きんたろうの森で講習	13	15	14
7/27(日)	森ビト養成講座 #5	里山の樹木を知ろう	10		15
8/25(月)	森ビト養成講座	NEAL自然体験活動指導者養成講座後編	4	9	13
9/9(火)	木笛講習会		7		7
11/28(金)	自然体験活動指導者養成講座 in 立山 打ち合わせ・下見		4	9	13
11/29(土)	自然体験活動指導者養成講座 in 立山	自然体験・インタープリター特別養成講座	9	7	16
1/21(水)	安全講習会	森づくり活動における安全	15		15
2/4(水)	里山講演会		14	1	15
2/11(水)	安全講習会		10		10
2/28(土)	自然観察会		1	7	8
		合 計	119		206

(2) レスコ

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	⊕	外	人数
5/10(土)	富山レスコ立ち上げ #1	立ち上げ 富山国際会議場	2	25	27
6/10(火)	富山レスコ #2		3	7	10
6/15(日)	富山レスコ #3	定例会研修講義室	3	17	20
7/19(土)	富山レスコ #4	定例会 講師:多田琴美	3	17	20
8/20(水)	富山レスコ勉強会 #5	定例会 講師:石山雄貴	3	10	13
10/3(金)	富山レスコ勉強会 #6	定例会	3	7	10
11/19(水)	富山レスコ勉強会 #7		3	8	11
12/4(木)	富山レスコ勉強会 #8	定例会 講師:中村和彦	4	10	14
2/25(水)	富山レスコ勉強会 #9	定例会 講師:伊藤恵理・松林沙紀	4	7	11
2/28(土)	ESDフォーラム準備	発表準備と予行練習	3	17	20
3/7(日)	ESDフォーラム		15	85	100
3/15(日)	富山レスコ勉強会	定例会 講師:岩城由貴子	3	7	10
		合 計	49	117	266

平成26年度末の財産目録と貸借対照表

1. 「NPO 法人きんたろう倶楽部が所有する財産目録」

(品目)

預 金	4, 084, 798円	(平成26年度積立金会計残高)
預 金	1, 810, 449円	(平成26年度末現在の一般会計残高)

2. 「年度末貸借対照表」(平成26年度末)

資産の部

(流動資産)

預 金	5, 895, 247円	(一般会計、積立金会計)
未収金	0円	

(固定資産)

土地建物	0円
------	----

(その他の資産)

出資金	0円
-----	----

(資産の合計) 5, 895, 247円

負債の部

(流動負債)

借入金	0円	
未払い金	0円	
準備、引当金	0円	
預り金	165, 583円	(社会・雇用保険料、所得税、返還金※)

※セブンイレブン助成金の返還額が未確定のため、想定額を計上した

資本の部

(資本金)

資本金	0円
積立金	4, 084, 798円
収支差額	1, 644, 866円

(負債資本の合計) 5, 895, 247円

平成26年度一般会計決算報告概要

【収入】

会費収入減と事業収入減で、全体としては93%の執行率となった。

会費収入は、会員数が増加していないことで予算を下回った。なお会費の納入率は78%（正会員84%、倶楽部会員74%、賛助会員77%）であった。

事業収入では、わくわく富山たんけん隊および自然体験指導者養成講座への参加者が計画より少なかったことで、収入減となった。またI BW事業もはかばかしい進捗がなかったために大幅な収入減となった。ただしI BW事業は支出もその分減少となっている。

また、新たにログハウスのBESSから10万円の寄付の申し出があった。

【支出】

支出の面では、I BWを除いては、ほぼ予算通りの執行である。

I BWは、進捗がはかばかしくなかったために、ストックされていた材料で賄うことができ、新しい材料費は発生しなかった。またフォレストライブラリー予定地までは延伸しなかったため、そのための予算の執行もなかった。

地球環境基金、セブンイレブン助成金の活動は、ほぼ申請通りの執行となった。これらの活動は、おもに(3)里山の利活用事業と(4)人材育成事業費に渡るので、(3)(4)を合計した数値も示した。

管理費も、ほぼ予算通りではあったが、各項目で少しずつオーバーとなった。仕事量の増加が予算に十分反映されていなかったと思われる。なお予算を大きく上回った事務消耗品費は、パソコンを1台更新したことと、コピー機トナーの消耗が激しかったことによる。

【収支】

単年度では389千円の赤字となった。予算に組み込まれていなかった寄付金収入を考慮すると828千円の支出超過となる。前述のように、会員数の停滞と管理費の増大がおもな理由である。

平成26年度特定非営利活動に係る事業会計収支決算書

平成26年4月1日から27年3月31日まで

特定非営利活動法人きんたろう倶楽部

一般会計

(単位:円)

科目・摘要	決算	予算	差額	備考	執行率
I 収入の部					
1 会費収入					
正会員会費収入	275,000	360,000	-85,000		
倶楽部会員会費収入	106,000	175,000	-69,000		
賛助会員会費収入	75,000	250,000	-175,000		
	456,000	785,000	-329,000		58%
2 事業収入					
(1)森づくり事業	20,000	20,000	0	チップー機貸出代	
(2)地域の交流事業	144,600	30,000	114,600	わくわく富山たんけん隊参加費	
(3)里山の利活用事業	635,000	900,000	-265,000	呉羽丘陵たんけん隊参加費	
(4)人材育成事業	155,000	380,000	-225,000	自然体験指導者養成講座参加費	
(5) I BW	166,800	990,000	-823,200	メッセージボード、寄付	
	1,121,400	2,320,000	-1,198,600		48%
3 助成事業収入					
市民参加の森づくり	540,000	500,000	40,000		
保険料支援金	229,760	200,000	29,760	とやまの森づくりサポートセンター	
活動支援金	60,000	60,000	0	とやまの森づくりサポートセンター	
地球環境基金助成金	2,929,000	3,000,000	-71,000		
セブンイレブン助成金	639,185	621,430	17,755		
	4,397,945	4,381,430	16,515		100%
4 委託事業					
富山市森のちから	4,100,000	4,100,000	0	富山市	
わくわく田んぼ	126,415	152,000	-25,585	富山市ファミリーパーク	
維持管理作業					
幼竹除伐作業	135,010	105,000	30,010	富山市ファミリーパーク	
ハープ坂管理	114,050	20,000	94,050	富山市ファミリーパーク	
	4,475,475	4,377,000	98,475		102%
6 その他					
寄付金	439,563	0	439,563	オレンジマート、プルデンシャル生命、バス	
利息	497	500	-3		
その他	124,577	0	124,577	日本体育協会、環境パートナーシップ他	
	564,637	500	564,137		-
当期収入合計(A)	11,015,457	11,863,930	-848,473		93%

科目・摘要	決算	予算	差額	備考	執行率
Ⅱ 支出の部					
1 事業費					
(1) 森づくり事業					
保険料	231,560	232,000	440		
活動消耗品費	202,367	80,000	-122,367	飲み物、チップソー、刈払い機	
委託費	0	15,000	15,000		
修繕費	0	50,000	50,000		
人件費	27,000	50,000	23,000	有償ボランティア	
	460,927	427,000	-33,927		108%
(2) 地域交流事業					
活動消耗品費	31,022	5,000	-26,022	クラフト材料	
	31,022	5,000	-26,022		620%
(3) 里山の利活用事業					
人件費	1,127,400	960,000	-167,400	キャンプ、レスコ	
謝金・講師料	615,600	92,000	-523,600	キャンプ、レスコ	
旅費・交通費	189,290	50,000	-139,290	キャンプ、レスコ	
備品購入費	388,774	630,000	241,226	タブレット15台、キャンプ	
リース料	10,000	30,000	20,000	アロマ	
施設利用料	38,800	90,000	51,200	キャンプ	
広報費	127,502	512,000	384,498	キャンプ・シンポちらし	
保険料	0	20,999	20,999		
通信費	17,385	30,000	12,615		
活動消耗品費	283,001	206,600	-76,401	キャンプ、アロマ	
	2,797,752	2,621,599	-176,153		107%
(4) 人材育成事業					
謝金・講師料	476,243	686,000	209,757	講演会・レスコ	
旅費交通費	170,694	122,780	-47,914		
研修費	157,100	80,000	-77,100	ユネスコ国際会議	
備品購入費	0	70,000	70,000		
リース料	112,800	320,000	207,200	プロジェクター	
施設利用料	162,668	66,000	-96,668	キャンプ、レスコ、ESDシンポ	
広報費	0	90,000	90,000		
通信費	0	30,000	30,000		
活動消耗品費	103,628	111,000	7,372		
	1,183,133	1,575,780	392,647		75%
(3)(4)合計	3,980,885	4,197,379	216,494	セブンイレブン ¥724,408 地球環境基金 ¥3,088,364	95%
(5) IBW					
材料費	0	442,000	442,000		
フォレストライブラリー	0	100,000	100,000		
活動消耗品費	24,903	74,200	49,297	金具等	
食糧費	9,811	20,000	10,189		
諸会費	10,000	10,000	0		
	44,714	646,200	601,486		7%
事業費合計	4,517,548	5,275,579	758,031		86%

科目・摘要	決算	予算	差額	備考	執行率
2 管理費					
給料手当	4,888,000	4,888,000	0		
福利厚生費	733,997	798,000	64,003		
通信費	238,512	160,000	-78,512	電話・メール便・インターネット	
新聞図書費	36,864	35,844	-1,020	新聞購読料	
リース料	394,896	427,330	32,434	コピー機・軽自動車	
保険料	63,310	65,000	1,690	軽自動車保険料	
燃料費	46,448	37,000	-9,448		
事務消耗品費	419,934	120,000	-299,934	コピー、コピー機トナー、パソコン	
租税公課	3,600	10,000	6,400		
研修費	0	0	0		
旅費交通費	25,060	0	-25,060	日体協北信越ブロック	
手数料	20,954	14,000	-6,954	振込手数料	
修繕費	12,420	10,000	-2,420	電話回線故障	
諸会費	2,500	3,000	500	会費	
管理費合計	6,886,495	6,568,174	-318,321		105%
当期支出合計	11,404,043	11,843,753	439,710		96%

当期収支差額	-388,586	20,177	-408,763		
前期繰越額	2,033,452	2,033,452	0		
当期繰越収支差額	1,644,866	2,053,629	-408,763		

平成 26 年度 積立金 会計 収支 決算書

(平成26年4月1日から27年3月31日まで)

(収入の部)

単位：円

科 目	決 算 額	備 考
前期繰越金	2,805,397	前年度繰越金
積立金収入	1,300,000	一般会計より
貯金利息	447	預金利子
収入合計	4,105,844	

(支出の部)

単位：円

科 目	決 算 額	備 考
	21,046	事務所移転
支出合計	21,046	
次期繰越金額	4,084,798	円


監査の実施結果について

定款第 15 条第 4 項第 2 号並びに第 46 条の規定により監査を実施した結果について報告するもの。

(監査結果)

NPO 法人きんたろう倶楽部定款第 15 条第 4 項第 2 号並びに第 46 条の規定に基づき、NPO 法人きんたろう倶楽部の平成 26 年度にかかる業務を監査したところ、事業の内容及び収支決算は説明資料の通り適切に執行されているものと認めます。

平成 27 年 5 月 29 日

監事 田畑宏経 

監事 市森友明 

きんたろうマネー（仮称）の導入と運用について

【概要】

きんたろう倶楽部内のみで通用するローカルマネー「きんたろうマネー（仮称）」（以下◆）を導入し、森づくりなどのボランティアに参加した会員に振り出し、◆で、会費や各種講習会等の参加費を支払うことができるようにする。

【導入のメリット】

- これまでの飲み物だけのボランティアより、ちょっとだけやる気が湧く。
- 会費納入の負担を軽減できる。
- 会費制のイベントに参加しやすくなる。

【導入のデメリット】

- 事務局の負担が若干増える。

【詳細】

◆◆の振り出し：

☆ きんたろう倶楽部の次の活動に参加した各会員（賛助会員を除く）に、きんたろう倶楽部事務局より、振り出される。半日 1 回 500 円。

（森づくり）

- きんたろうの森整備
- 呉羽丘陵竹林整備ボランティア（準備、当日、後処理のそれぞれの活動）
- 日立国際電気の森整備
- 山田 Koro りんの森整備
- 婦中ふるさと自然公園整備（各願寺）
- 富山国際大学里山林整備
- 桐谷地区整備
- 割山森林公園天湖森整備
- 小羽の森整備
- 稲代地区国有防風林整備
- 呉羽丘陵竹林整備西金屋地区（めひの野園）
- 富山総合支援学校竹林整備
- 子守ネット植樹活動（やまむろ保育園）

（クラフト）

- キャンドルナイト（準備、当日）
- 山王まつり
- 輝けいのちの集い

（その他）

- さとやまの木道（準備・打付けイベント）
- 悠久の森（流しソーメン）
- わくわく田んぼ（あぜぬり・草刈り）
- ハーブ坂管理（草取り・植栽）
- 里山キャンプスタッフ
- 岩瀬海岸漂流物調査

☆ 新規の活動などここに表記されていない活動については、事務局が判断する。

◆による支払い

◇ きんたろう倶楽部の会費（賛助会費を除く）および、各種活動の参加費の本人分の支払いに充てることができる。（本人からの申し出による）


- 10回の活動に参加すれば、正会員会費を、4回参加すれば、倶楽部会員会費を、全額賄うことができる。

◆の有効期限

◇ 振り出しを受けた日から、2回目の3月31日までを有効期限とする。


- 最短でも丸1年、長ければ2年の期限があるので、必ず、会費の納入に利用する機会がある。
- 期限が来たら、事務局で無効の処理をする。

◆の管理

◇ の、各会員への振り出し、各会員の所有額の管理等は事務局が行う。

◆の運用推算

◇ 振り出し金額

- 昨年度の実績から推算すると470単位のが振り出される。

◇ 支払いに活用される金額

- 24年度の調査からの推定によれば、全額会費に充当することができる会員は、倶楽部会員で30人88単位、正会員で32人177単位と見込まれる。このうちの8割が実際に使用されるとすると、212単位が使用されると推算される。
- 会費への充当だけでは残額の生じる会員は、正会員で11人、倶楽部会員で10人と見込まれる。これらのうちの9割が使用されるとすると、 $(11 \times 10 + 10 \times 4) \times 0.8 = 135$ 単位が、支払いに用いられるとみなされる
- 合わせて347単位すなわち174千円程度が支払いに活用されると推算される。

正会員と倶楽部会員の統合とそれに伴う会費額改訂の提案

《この提案の性格》

この提案は、本総会で提案するが、きんたろうマネー（仮称）の運用の実態なども踏まえ、また、会員各位の意見も広く聞いたうえで、来年度の総会で改めて議論する予定のものである。

《提案》

正会員と倶楽部会員の区分を無くし、正会員に統一する。
会費の年額は、正会員の現在の年額5,000円とする。

《提案の背景》

＜現状＞

正会員と倶楽部会員の規約上の区分は「総会での議決権」と「会費の年額（正会員は5,000円、倶楽部会員は2,000円）」のみであるが、会費の差に見合った区分を明瞭にするために、わざわざ総会のお知らせと資料は正会員だけに送り、倶楽部会員には報告を送るだけとして来た。

＜正会員・倶楽部会員の区分を無くす＞

この現状に対して、倶楽部会員にも総会の案内を送り、出席していただいて、意見も言っていた方がいい（総会は出席者が少なく、意見も少ない。）との声があり、きんたろう倶楽部懇話会で話題にしたところ、正会員・倶楽部会員の区分を無くするとの意見が多かった。その後、理事会でも議題とし、区分を無くすることでは一致した。

＜会費値上げときんたろうマネー＞

区分のなくなった会員の会費年額をいくらとするかについては、理事会でいくつかの案が検討されたすえ、5,000円とすることとした。これは、倶楽部会員にとっては3,000円の値上げに相当する。そこでその代り、きんたろうマネー（仮称）を導入し、森づくりなどのボランティアに参加した会員に1回500円のきんたろうマネーを支払うこととし、会員は、このマネーで会費や各種参加費を支払うことができるようにすることとした。つまり、きんたろうの森整備などの活動に、たとえば年6回参加すれば、3,000円のきんたろうマネーが貯まり、倶楽部会員の会費の値上げ分に充てることができる。

《会費値上げに伴う退会者の想定》

倶楽部会員にとっては、会費は現状の2.5倍となり3,000円の値上げとなる訳で、これを機会に退会者が出ることは、十分に想定できる。

会員の活動への参加の24年度の調査によれば、倶楽部会員のうち、当該年度に1度も活動に参加しなかった者の割合は40%（56人）。これらの者の3/4が退会するとするとその数は42名と想定される。

きんたろう倶楽部中長期構想

	現在		5年目	10年後	目標	
森づくり	里山整備環境	きんたろうの森整備計画立案	くれは山荘・きんたろう倶楽部を自然活用活動の拠点とする	呉羽丘陵で里山文化を楽しむ	先導 里山再生のモデル地区に	
		人づくり				里山林整備技術研修 安全講座
里山利活用	森づくり・里山文化の活用・癒す・作る	若手の取り込み レスコ支援			地域貢献 里山文化の創造	
		森ビット養成講座 NEAL講座				
		里山キャンプ				
自然解説員						
マップ						
さとやまの木道						
アロマづくり						
森の癒し						
地域の交流	森づくり・里山キャンプを通じて地域と交流					

平成27年度事業計画概要

【概要】

事務局長松田秀明氏との雇用関係は3月末をもって終了した。松田秀明氏には、業務委託という形態で引き続き多くの事業に携わってもらおう。

本年度は事務局体制変更の初年度であり、事務所移転の年でもあるので、活動は、昨年度の踏襲を基本とする。

その中でも、倶楽部の中核活動であるきんたろうの森の整備を継続しつつ、3年目になる里山キャンプとその実施主体であるレスコへの援助を途切れさせない。

また、事務所移転は、活動をファミリーパーク内から呉羽丘陵へと広げていく良い機会と捉え、呉羽山荘を呉羽丘陵での活動の拠点として行く。

【森づくり】

「市民参加の森づくり」事業では、きんたろうの援助なしでも独自に実施できるようになった日立国際電気の森を年2回から1回に減らし、同じ八尾町の桐谷の森の整備を新たに加える方向で検討する。なお、他の地区では引き続き着実に実施する。

「地域と協働の森づくり」では、これまで造園組合が担当していた「呉羽丘陵竹林整備ボランティア」の運営を、新たに引き受けることになり、およそ150人の参加を得てすでに実施した。また、日立国際電気の森整備の、後継として予定している桐谷の森の整備を昨年度に引き続き実施する。桐谷の森整備は、当地で活動中のアイフィールファインからの要請によるものである。

きんたろうの森では、月2回の定期活動を引き続き実施して行くが、リーダー会を中心とした運営とする。また、「竹林整備ボランティア」の活動と「きんたろうの森」の活動が、シナジー効果を持つように工夫していきたい。

【地域の交流】

地域の諸団体との協働事業は、継続して実施する。

今年度に引き続き、子供達を媒介とした交流に積極的に参加し、ノウハウを吸収し、倶楽部が中心となって実施できるようにしていく。また、今年度新たに始まった園芸療法ネットワーク富山との協働事業も継続して行く。

なお、悠久の森フェスティバルで実施していた恒例の流しそうめんは、一昨年・昨年と実施を見送り、さとやまの木道整備に専任していたが、懇話会での復活を望む声が強くと、本年は分担して実施する方向で検討する。

【里山の利活用】

3年目になる里山キャンプを活動の中心とする。その実施主体となるレスコへの援助も継続していく。

さとやまの木道は、ファミリーパークの入園者を期待するだけでは捗々しくいかないため、今年度実施した4つの団体（コカコーラ・BBT・富山の木工教室・悠久の森）との共同イベントを継続するよう働きかけることに加え、オレンジマート、BESS、日本海ガス、北陸電力などこれまで接触のある団体などとの共同イベントを働きかけ、延伸のペースを速める。

アロマづくりは、会員外の参加が多いイベントであり、注力していく。

呉羽丘陵マップづくりは、県立大学と共同で開発したアプリを公表し、有効な活用をはかりつつ、ブラッシュアップする。

【人材育成】

レスコは月例会を開催しながら、里山キャンプを準備、実施していくが、この活動を支援し、レスコの自立を援助していく。

サポセン等で修得した技術等を、倶楽部の活動の中で発揮してもらうことに配慮して行く。特に多くの会員が修了している刈払機については、計画的に実践に活かし、技術の向上をはかる。

【会員数】

魅力ある活動を通じて、会員増に努める。

ホームページ、FACEBOOKでの情報発信、また、新聞等への露出度を積極的に増やして、市民への認知度を上げる。

「さとやまの木道」整備を機会に、多くの新しい人たち・企業との接触が生まれる。「さとやまの木道」への支援を依頼するとともに、倶楽部への理解と支援もお願いし、会員の拡大を図る。

平成27年度収支予算案概要

【概要】

きんたろうマネー（仮称）を導入・運用するものとした。

事務局体制の変更により、松田秀明氏・茶木勝氏への委託費を計上した。

事務所移転に伴って、部屋代、水道光熱費が発生するが、水道光熱費はくれは山荘管理費と相殺し、部屋代だけを支払うこととなった。なお事務所の移転に伴う経費は、一般会計からは出費せず、積立金会計（事務所移転準備積立金）から出費することで理事会の了承を得ている。

【収入】

新たな入会者を正会員11名、倶楽部会員13名、賛助口数の増加を20口とした。

また、きんたろうマネー（仮称）の導入により、各会員に渡ったきんたろうマネーのうち174千円が会費および各種イベントの参加費として、有効に活用されるとした。仮に正会員会費収入の項目での収入減として計上した。

事業収入の主なものは、里山キャンプ、アロマづくりなどの参加費と、さとやまの木道の募金である。本年は、さとやまの木道の延伸には特に注力する計画である。

助成金収入では、採択された特別な資金はない。

委託事業では、本年度から「呉羽丘陵竹林整備ボランティア」を受託した。また昨年度途中からアイフィールファインに協力実施している桐谷の森の整備は、本年度も継続する（3年計画の2年目）。

【支出】

事業費は、基本的にはこれまでの実績の上に、呉羽丘陵竹林整備ボランティアの費用を上乗せした形で計上している。

I BWは、本年度は特に注力し30スパンの延伸を計画した。なお本年度中に到達する予定であるフォレストライブラリーの費用も計上した。

管理費の、人件費相当分については、是松好美氏の給料手当・福利厚生費と松田・茶木氏の委託費となり、昨年度より、514千円の減額となる。事務所の借料が新たに発生するが、その分、リースコピー機を見直し、トナー代の減額をはかった。

【収支】

予算案上は、単年度では赤字となるが、きんたろうマネー（仮称）の運用状況、会員の動向など不明確なところがいくつか残っている。

引き続き、適切な助成金を探索し、応募を検討する。（1件応募中）

平成27年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算書

科目・摘要	金額	小計・合計	備考
I 収入の部			
1 会費収入		520,500	
正会員会費収入	173,500		会費@5000x70人(64→75) ⊕(212+135)*¥500=-174,000
倶楽部会員収入	147,000		会費@2000x74人(67→80)
賛助会費収入	200,000		会費@5000x40口
2 事業収入		1,548,000	
(1)森づくり事業	0		
(2)地域の交流事業	100,000		クラフト実績70k+流しソーメン30k
(3)里山の利活用事業	593,000		里山キャンプ、アロマづくりなど
(4)人材育成事業	30,000		自然体験指導者養成講座
(5)IBW	825,000		IBW協賛金、ボード25スパン分
3 助成事業収入		789,000	
市民参加の森づくり	497,000		富山市
保険料支援金	232,000		森づくりサポートセンター
活動支援金	60,000		森づくりサポートセンター
4 委託事業		5,060,000	
富山市森のちから	4,000,000		富山市
呉羽丘陵竹林整備 ボランティア	700,000		富山市
わくわく田んぼ維持管理	150,000		ファミリーパーク
ハーブ坂管理	110,000		ファミリーパーク
桐谷整備	100,000		アイフィールファイン
5 その他		286,500	
寄付金	286,000		オレンジマート ¥150k、 プルデンシャル ¥136k
利息	500		
その他	0		
当期収入合計(A)		8,204,000	

科目・摘要	金額	小計・合計	備考
II 支出の部			
1 事業費		1,873,784	
(1)森づくり事業		521,784	
保険料	232,000		ボランティア保険賠償・傷害・動力
活動消耗品費	189,000		食糧、消耗品
修繕費	75,000		チップパー機メンテナンス
リース料	25,784		仮設トイレ
人件費	0		有償ボランティア停止
(2)地域交流事業		40,000	
活動消耗品費	40,000		クラフト20k、流しソーメン20k
(3)里山の利活用事業		461,000	
人件費	60,000		レスコ
謝金・講師料	40,000		キャンプ、ノルディック、セラピー
リース料	10,000		アロマづくり
施設利用料	44,000		アロマづくり、里山自然セラピー
広報費	67,000		里山キャンプ県内小学生
活動消耗品費	240,000		里山キャンプ他
(4)人材育成事業		126,000	
謝金・講師料	45,000		自然体験活動、安全講習
旅費交通費	5,000		自然体験活動養成講座
研修費	60,000		CONE会費、受講者補助
施設利用料	16,000		アロマづくり、里山自然セラピー
(5)IBW		725,000	
材料費	600,000		木部材、金具 30スパン分
フォレストライブラリー 関係費	100,000		ベンチ、付属備品など
活動消耗品費	15,000		ポスカ、チラシ
諸会費	10,000		I.B.O.Japan

科目・摘要	金額	小計・合計	備考
2 管理費		6,373,876	
給料手当	2,149,000		是松
福利厚生費	332,000		社会保険料、雇用保険他
委託費	2,700,000		松田・茶木
事務所借料	240,000		10k*12月×2部屋
水道光熱費	0		山荘管理費と相殺
燃料費	51,000		ガソリン・機械燃料
通信費	256,500		電話、インターネット、郵送
新聞図書費	36,876		新聞購読費
リース料	381,000		コピー機 120,000 軽自動車 261,000
事務消耗品費	75,000		事務用品
租税公課	10,000		収入印紙、軽四自動車税
研修費	30,000		研修参加費、
保険料	65,000		軽四自動車保険料
手数料	10,000		会費振込手数料
修繕費	10,000		
旅費交通費	25,000		
諸会費	2,500		富山県社会保険協会会費
当期支出合計		8,247,660	
当期収支差額		-43,660	
前期繰越額		1,644,866	
当期繰越収支差額		1,601,206	

追加役員名簿

特定非営利活動法人きんたろう倶楽部

任期：平成27年7月1日～平成28年6月30日まで

(現任役員任期の残存期間)

役名	氏名	報酬の有無	備考
理事	鎌形 由紀	無	
理事	佐藤 卓	無	
理事	田開 寛太郎	無	

参考までに、現任役員は、

役名	氏名	報酬の有無	備考
理事	尾畑 納子	無	
理事	鏡森 定信	無	理事長
理事	加藤 弘	無	
理事	黒田 哲也	無	
理事	渋谷 秀樹	無	
理事	飛田 由美	無	副理事長
理事	中沖 修一	無	
理事	中野 康英	無	副理事長
理事	堀田 博	無	副理事長
理事	山本 茂行	無	副理事長
監事	市森 友明	無	
監事	田畑 宏継	無	

定款の一部変更について

定款の一部変更新旧対照表

改正案	現行
第1章 総則 (事務所) 第2条 この法人は、事務所を富山県富山市に置く。	第1章 総則 (事務所) 第2条 この法人は、事務所を富山県富山市古沢254番地富山市ファミリーパーク内に置く。